

令和6年度

設計業務委託基本計画書

業務名

隠岐島消防署海士出張所庁舎整備事業設計業務

隠岐広域連合消防本部

目 次

第 1 章	建物概要
第 2 章	敷地概要
第 3 章	設計上の留意事項
第 4 章	仕上概要

第1章 建物概要

1-1 建物概要票

種別 棟別	建物名称	構造	階数	延面積㎡	主要用途	(類型)
A	庁舎	RC	1	500.00	事務所、車庫	
B	駐輪場	S	1	12.00	駐輪場	
計						

※主要用途欄には「平成31年国土交通省告示第98号 別添二」に該当する類型を記入する

1-2 棟別及び各階面積表

(単位：㎡)

棟別 階	A	B				計
建築面積	500.00	12.00				512.00
1階	500.00	12.00				512.00

1-3 構造概要

(単位：m)

項目 棟別	A	B				
基礎及び地形	直接基礎	べた基礎				
構造躯体	RC	S				
1階階高	5	2				

1-4 設計上の注意事項

棟別	A	B	C	D	E	F
建設省告示第1455号の適用	なし	なし				
構造	構造体： I類 建築非構造部材： A類 建築設備： 甲類	構造体： III類 建築非構造部材： B類 建築設備： 乙類	構造体： 類 建築非構造部材： 類 建築設備： 類	構造体： 類 建築非構造部材： 類 建築設備： 類	構造体： 類 建築非構造部材： 類 建築設備： 類	構造体： 類 建築非構造部材： 類 建築設備： 類

※構造欄には「官庁施設の総合耐震計画基準」による、耐震安全性の分類を記入する

1-5 概算工事予定額

40,000万 円 (税込)

第2章 敷地概要

2-1

敷地位置

 海士町大字海土地内

2-2

地域地区

 指定なし

2-3

建ぺい率

 - %

容積率

 - %

2-4

敷地面積

 約3,500 m² 丈量図 (有 無)

2-5

敷地の条件

イ 周辺道路

西	W=	3.5	m
北	W=	4.0	m

ロ 隣接建物の影響

日陰図作成	• 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無
電波障害	• 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無

ハ 気象条件

海岸より	約	0.9 km
過去に水害	• 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無
過去の最大積雪量		92 cm
過去の月別平均最低気温		0.8 °C

ニ 地質調査資料

<input checked="" type="checkbox"/> 有 (調査予定)	• 無
--	-----

イ 駐車場	<input checked="" type="radio"/> 有	<input type="radio"/> 無
(ライン引き	<input checked="" type="radio"/> 有	<input type="radio"/> 無)
<hr/>		
ロ 構内舗装	<input checked="" type="radio"/> 有	<input type="radio"/> 無
(<input checked="" type="radio"/> アスファルト	<input type="radio"/> コンクリート	<input type="radio"/> インタ-ロッキング
		<input type="radio"/> 砂利敷き)
<hr/>		
ハ 屋外排水	<input checked="" type="radio"/> 有	<input type="radio"/> 無
<hr/>		
ニ 柵	<input checked="" type="radio"/> 有	<input type="radio"/> 無
(<input type="radio"/> フェンス	<input type="radio"/> ブロック
		<input type="radio"/> その他)
<hr/>		
ホ 門及び名札標示	<input type="radio"/> 有	<input checked="" type="radio"/> 無
(<input type="radio"/> 正門	<input type="radio"/> 裏門
		<input type="radio"/> その他)
<hr/>		
ヘ 擁壁	<input type="radio"/> 有	<input checked="" type="radio"/> 無
<hr/>		
ト 植樹	<input type="radio"/> 有	<input checked="" type="radio"/> 無
<hr/>		
チ その他		

第3章 設計上の留意事項

3-1 基本方針

- ・施設配置については、周辺環境や近隣施設に配慮した計画とする
- ・前面道路側に敷地出入口を設置し、来庁者用駐車場、構内通路及びバックヤードを適宜計画する
- ・男女が24時間共同生活を行うため、プライバシーに配慮した計画とする
- ・地元産材の活用についても検討する

3-2 主要諸室の機能

室名	面積 (㎡)	用途・機能
事務室	52.5	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の執務室及び来庁者の対応を行う ・隔日勤務者10人が勤務する ・所長の机、椅子を設ける ・署員のフリーデスク、椅子8脚を設ける ・壁面に造り付け書棚を設け、下部にフリーデスク用パーソナルロッカー10個を収納できる構造とする
相談室	8.0	<ul style="list-style-type: none"> ・町民相談、調書作成聴取等の室として利用する ・打ち合せのできる机（4人掛け）、椅子を設ける
会議室兼訓練室	15.0	<ul style="list-style-type: none"> ・各種会議及び訓練に利用する ・8人程度の会議机、椅子を設置する ・トレーニング用器具を設置する
会議室倉庫	4.5	<ul style="list-style-type: none"> ・会議室に隣接して設ける ・会議机及び椅子等を収納する
書庫	18.0	<ul style="list-style-type: none"> ・移動書架を設置する
食堂	36.0	<ul style="list-style-type: none"> ・事務室に隣接して設ける ・一度に6人程度が利用可能な計画とし、厨房設備一式を設ける ・食器棚、家電用収納棚及び冷蔵庫を設置する ・屋外に通じる出入口及び差し掛け屋根を設け、屋外にゴミ置場を設ける
男性用仮眠室兼更衣室	36.0	<ul style="list-style-type: none"> ・ベッド1台及び更衣ロッカー2台を一組として5区画設ける ・各区画の配置は、冷暖房効率に配慮した計画とする ・ベッド下に2人分の布団収納を設ける
浴室・脱衣室・洗面室	14.0	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニットバスその他、シャワーブースを設ける ・洗濯機、脱衣棚を設ける
女性用仮眠室・浴室兼更衣室	18.0	<ul style="list-style-type: none"> ・ベッド1台、更衣ロッカー2台を設ける ・ベッド下に2人分の布団収納を設ける ・ユニットバス（トイレ・洗面台付）を設ける
車庫	120.0	<ul style="list-style-type: none"> ・ポンプ自動車1台、高規格救急車1台、査察車1台（増台分）が駐車可能な計画とする ・天井高は車両の上部での作業に支障のない高さ（5m程度）を確保する ・床面は大型車両の駐車に耐え得るものとし、滑りにくい仕上げとする ・足洗い場を設ける ・給湯栓を車庫内に設け、1か所は流し台を設ける ・救急車・ポンプ車に近接して電源を設ける ・ホース収納棚（50本程度）を設ける ・車庫前に差し掛け屋根を設ける
資機材庫	6.0×2	<ul style="list-style-type: none"> ・車庫から直接出入りできる動線を確保する ・車両への資機材の出し入れに配慮した位置に設ける

救急資機材庫	12.0	<ul style="list-style-type: none"> 救急消毒室に隣接して設置する 車庫に隣接し、救急車のストレッチャーを出し入れしやすい位置に設ける
救急消毒室	10.0	<ul style="list-style-type: none"> 救急活動で汚染された衣類及びストレッチャー等の資機材の洗浄を行う 出入口には足入れセンサー付き自動スライドドアを設ける 手洗い場（センサー式）を設ける シャワー水栓を設け、グレーチングを用いた排水設備を設ける
出動準備室	18.0	<ul style="list-style-type: none"> 出動時、防火衣等を着装する 迅速に出動するため、車庫に隣接して配置する 指令端末装置の系統を設置する 中央に背合わせ防火衣収納（8人分）、壁に収納（3人分）を設置する
自家発電設備室	13.5	<ul style="list-style-type: none"> 停電時、出動指令装置及び照明等の電源を確保する 発電設備の燃料備蓄量は72時間（3日間）とし、燃料補給を行うことにより168時間（1週間）以上の運転可能時間を確保する 浸水対策のため防水扉を設置する
油庫	4.5	<ul style="list-style-type: none"> 自家発電の燃料庫として使用する
玄関・風除室	適宜	<ul style="list-style-type: none"> 事務室から目視確認できる位置とし、来客通知センサーを設ける 施設名看板（木製）、郵便受けを設ける テンキーロック式錠を設け、オートロックとする 10人分（来客用）の下足箱を設ける 国旗が掲揚できるものとする
職員用玄関	適宜	<ul style="list-style-type: none"> テンキーロック式錠を設け、オートロックとする
トイレ	適宜	<ul style="list-style-type: none"> 男性用、女性用、多目的トイレ、職員専用トイレを設ける 多目的トイレに呼び出し用押しボタンを設ける。
廊下	適宜	<ul style="list-style-type: none"> 滑りにくい仕上げとする 掲示スペース（マグネット式）を設ける

3-3 外構

施設名	用途・機能
屋外掲示板	<ul style="list-style-type: none"> 防火ポスター等の掲示を可能なものとする
駐車場	<ul style="list-style-type: none"> 来庁者用駐車場として普通乗用車5台分（身体障がい者用駐車場を含む）を設ける 職員用駐車場として普通乗用車10台分を設ける
駐輪場	<ul style="list-style-type: none"> 来庁者、職員用の自転車8台分を設け屋根を設置する
地上式消火栓	<ul style="list-style-type: none"> 災害活動及び水槽付消防ポンプ車の補水に利用する
防火水槽	<ul style="list-style-type: none"> 災害活動及び水槽付消防ポンプ車の補水に利用する
ホース乾燥塔	<ul style="list-style-type: none"> 消防用ホース30本程度を、同時に乾燥できるものとする
物干場	<ul style="list-style-type: none"> 防火衣等の干し場として使用する
訓練施設	<ul style="list-style-type: none"> 外階段を設置し、屋上の一部を水平補強し訓練施設として使用する

第4章 仕上概要

この仕上表は参考であるので、設計過程において地元産材の利用など、最適化に努めること。

4-1 外部仕上表

項目 棟別	屋根	壁	軒裏	建具	硝子	その他
A	アスファルト防水 (歩行仕様)	コンクリート打放しの上防水型複層塗材	コンクリート打放しの上外装薄塗材	アルミ建具	複層ガラス	

4-2 内部仕上表

室名	床	巾木	腰壁	壁	天井	その他
事務室	タイルカーペット	杉板	杉板	EP塗り	化粧石こうボード	書棚
相談室	ビニル床シート	ビニル巾木	—	EP塗り	化粧石こうボード	
会議室兼訓練室	ビニル床シート	ビニル巾木	—	EP塗り	化粧石こうボード	
会議室倉庫	ビニル床シート	ビニル巾木	—	EP塗り	化粧石こうボード	
書庫	ビニル床シート	ビニル巾木	—	EP塗り	化粧石こうボード	移動書架
食堂	ビニル床シート	ビニル巾木	—	ビニルクロス	化粧石こうボード	キッチンユニット
男性用仮眠室兼更衣室	ビニル床シート	ビニル巾木	—	ビニルクロス	化粧石こうボード	
浴室・脱衣室・洗面室	ビニル床シート	ビニル巾木	—	EP塗り	化粧石こうボード	ユニットバス、ユニットシャワー、洗面台
女性用仮眠室・浴室兼更衣室	ビニル床シート	ビニル巾木	—	ビニルクロス	化粧石こうボード	ユニットバス
車庫	モルタル	モルタル	—	コンクリート打放し素地	コンクリート打放し素地	オーバースライダー
資機材庫	モルタル	モルタル	—	コンクリート打放し素地	コンクリート打放し素地	
救急資機材庫	モルタル	モルタル	—	EP-G塗り	化粧石こうボード	
救急消毒室	モルタル	モルタル	—	EP-G塗り	化粧石こうボード	
出動準備室	防滑ビニル床シート	ビニル巾木	—	EP-G塗り	化粧石こうボード	
自家発電設備室	モルタル	モルタル	—	コンクリート打放し素地	コンクリート打放し素地	
油庫	モルタル	モルタル	—	コンクリート打放し素地	コンクリート打放し素地	
玄関・風除室	タイル	モルタル	—	EP塗り	化粧石こうボード	
職員用玄関	タイル	モルタル	—	EP塗り	化粧石こうボード	下足箱
トイレ	防滑ビニル床シート	ビニル巾木	—	EP塗り	化粧石こうボード	
廊下	ビニル床シート	ビニル巾木	—	EP塗り	化粧石こうボード	掲示スペース